

## プロジェクト課題活動実績

課題名：JA出資型法人の早期経営安定に向けた運営体制の確立

山口農林事務所農業部 チーム員：金治直子、有吉真知子、河本一慶

### <活動事例の要旨>

減少するいちご産地の維持・発展を図るため、平成27年6月にJA山口中央が設立した「株式会社ベリーロード」が、28年度から本格的に運営（栽培面積1.8ha、8名入社）を開始した。

農林事務所は、新規就業者確保、栽培、経営等様々な角度から、(株)ベリーロードの運営支援を行った。

### 1 普及活動の課題・目標

- ・JA山口中央管内のいちご産地は、生産者の高齢化等で年々生産者数、栽培面積が減少している。
- ・JA山口中央では、平成26年度にいちご生産団地構想を作成し、JA出資型法人を核にいちご産地の再構築を目指し、山口市川西地区に平成27年度から29年度までの3カ年で、5.4haのいちご生産施設を整備し、28年度から30年度までの3カ年で30名の新規就業者を確保することとした。
- ・平成27年6月にJA出資型法人「株式会社ベリーロード」が設立され、28年9月に第1期社員が入社し、1.8haで栽培が開始された。
- ・平成28年度は、栽培施設の整備、就業者確保、栽培管理の確認等に重点を置き、JA、山口市等関係機関との連携を図りながら活動を行った。

### 2 普及活動の内容

#### (1) 施設等の整備

27年度に整備した施設の使い勝手等を踏まえ、施設仕様の決定や事業スケジュール確認等を関係機関と連携しながら、2期工事の1.8haの施設整備について支援を行った。

#### (2) 運営状況の確認

- ・栽培状況及び社員の動向等の情報収集を随時実施し、ベリーロード、関係機関等との相互のパイプ役として必要な事項についての支援を行った。
- ・農の雇用事業については、募集のスケジュール確認、申請書類作成支援等、事務手続きに遺漏がないよう支援を行った。

#### (3) 就業者確保

- ・第2期、第3期社員各10名の社員確保に向けて、ベリーロードの取組を広くPRするため、会社説明会、1期社員の入社式等の各種行事の記者発表を積極的に実施した。
- ・また、5月に収穫体験、9月にヤングファーマー養成研修等のイベント開催時に、ベリーロードのPRも兼ねて記者発表を実施した。

(4) 栽培管理体制、栽培技術の確認

28年度から1.8haの栽培を開始した。農林事務所では、採苗から収穫開始後の管理までの一連の管理作業について、作業内容や手順の確認や支援を行った。

3 普及活動の成果

今年度は、1期社員が入社し、1.8haで本格的な栽培が開始された。

また、昨年に引き続き1.8haの施設整備が実施されたため、農林事務所はパイプ役として随時(株)ベリーロード及び関係機関との情報交換を実施することで、事業導入及び運営が円滑に実施できた。

その結果、10月末から収穫・出荷が開始され、また2期社員については、予定どおり10名を確保することができた。

4 今後の普及活動に向けて

30年度入社予定の3期社員については、11月に募集を開始しており、最終的に10名の確保を目指して引き続き支援を行っていく。

また、次年度以降も新たに社員が入社し、栽培面積も倍増、施設整備も予定されている中、運営及び栽培管理が円滑に実施出来ることが急務である。

このため29年度は、試験研究と連携して、ハウスの統合環境制御による高効率・省力生産技術の実証を実施し、安定生産に向けた栽培管理技術の確立支援を行っていくことにしている。